

事業 1	ものづくり基本計画	(方針1) 企業の誘致と留置の推進		平成30年度			
	事業名	(事業1) 企業立地の推進		予算額	488,000 千円		
				決算見込額	252,803 千円		
	事業概要	<p>企業の誘致と留置の推進については、すでに策定済みの「静岡市企業立地戦略指針」や企業立地促進法に基づく「静岡市地域の基本計画」を進めるとともに、事業者の抱える課題等を把握していきます。また、企業に対しては、遊休用地・設備等の再編をはじめ、市内における事業継続、新規立地を促す情報提供及びPR活動のほか、優遇策の提供により、市内企業の留置と市外からの新規誘致を積極的に進めます。</p> <p>特に、広域交通インフラを活かした物流関連産業の立地促進、都市機能の集積を活かした都市型関連産業の立地促進、そして第2次静岡市産業振興プランに掲げた戦略産業の立地促進などを実施していきます。</p> <p>さらに、企業立地用地の確保の推進については、民間による開発促進に向けた支援の拡充のほか、公共による開発を含めた用地確保を検討します。</p>		取組状況	H30.9.1 現在	<p>市外企業の誘致及び市内企業の留置に向けて、企業訪問や本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信などを積極的に行い、企業立地の促進に努めている。</p> <p>具体的に立地を検討している企業には、市内の不動産業者や就労支援機関、教育機関等と連携し、市内物件や雇用面での情報収集のためのヒアリングを実施している。</p> <p>また、企業ニーズに合わせて助成制度の見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規企業立地件数 22件 ・市内企業訪問 322件 ・市外企業訪問 202件 ・企業立地相談件数 278件 	
				進捗率等	H30.9.1 現在	(新規立地件数) 22件	129 (%)
				補足事項	H31.3.31 現在	(新規企業立地件数) 22件	129 (%)
	成果目標	<p>新規企業立地件数 17件/年 (第3次総合計画)</p> <p>平成27~30年度 68件 平成31~34年度 68件</p>		事業結果	<p>【新規企業立地件数 22件】</p> <p>市外企業の誘致及び市内企業の留置に向けて、企業訪問や本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信などを積極的に行い、企業立地の促進に努めている。</p> <p>具体的に立地を検討している企業には、市内の不動産業者や就労支援機関、教育機関等と連携し、市内物件や雇用面での情報収集のためのヒアリングを実施している。</p> <p>また、企業ニーズに合わせて助成制度の見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施している。</p> <p>市内企業訪問 322件、市外企業訪問 202件 企業立地相談件数 278件</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	3 商工・物流分野			事業評価	
		政策	1 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
		施策	3 企業の誘致を留置の推進				
産業振興プラン位置付け	分野	3 商工・物流分野	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>				
	政策	1 次代を担う本市を代表する産業を生み出します					
	施策	3 企業の誘致を留置の推進					
担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 企業立地係</p>		その他(特記事項)	<p>今後予定されている大規模立地案件等への対応のため、助成制度の見直しを図り、交付事務手続きの簡素化等の検討を行う。</p>			

事業	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成30年度				
	事業名	(事業2) 全国規模等の見本市への出展助成		予算額	9,150千円			
				決算見込額	9,117千円			
	事業概要	<p>市内の中小製造事業者が、販路を開拓し、製品の販売促進に向けて、市内外で開催される全国規模、または国際的な展示会や見本市等に出展又は開催する経費のうち、小間料等を助成します。</p> <p>助成内容の拡充については、助成に基づく成約額等の実績などを考慮しながら検討していきます。</p>		取組状況	H30.9.1 現在	<p>■補助申請件数及び執行額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助申請件数 41件 ・執行額 7,328千円 		
					補足事項	進捗率等	H30.9.1 現在	— (%)
							H31.3.31 現在	<p>商談成約率(名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合) 10%</p> <p>150 (%)</p>
	成果目標	商談成約率(名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合) 5%		事業評価	事業結果	<p>■申請件数: 47件</p> <p>執行額: 9,117千円</p> <p>名刺交換数(確認できたもの) 6,065件</p> <p>商談に進んだ件数 1,060件</p> <p>■海外展示会への出展を行った企業数は7社。</p> <p>■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流					
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援					
産業振興プラン位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等					
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)					

事業 3-1	ものづくり基本計画	(方針2)新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成30年度			
	事業名	(事業3)首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-1)特産品東京展示会事業		予算額	4,602千円		
				決算額	4,596千円		
	事業概要	<p>この事業は、首都圏の商業施設等(東京丸の内KITTEやJR新宿駅構内のイベントコーナーなど)において、本市特産品の展示販売のほか、職人による実演等を実施し、伝統的工芸品を含む地場産品の販売促進に取り組みます。</p> <p>また、展示会事業では、展示販売だけでなく、バイヤーを招いて商談機会を設けるなど、更なる販売促進に結び付ける取組も実施していきます。</p> <p>開催会場については、本市地場産業にとって、収益性の向上等の効果が見込める会場を検討して選定します。</p>	取組状況	H30.9.1現在	<p>■10月17日~19日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした、本市地場産品等の販売を予定している。伝統工芸実演では、木漆職人による実演を予定している。また、特別企画として機織体験教室を開催し、多角的に本市をPRする。</p> <p>■昨年まで利用していなかった1/4エリアを他団体と協力し借りることができたので、今年は西口広場イベントコーナー全体を使い、統一感を演出し、盛り上がりある展示会を行えるよう、配置等を検討している。</p>		
				進捗率等	H30.9.1現在	0円 0%	
			H31.3.31現在		548万円 110(%)		
	成果目標	会場売上金額(万円) 500万円/年(2,000万円/4年)		事業結果	<p>■10月17日~19日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした本市地場産品等の販売を実施した。伝統工芸実演では、木漆職人による実演を行った。また、特別企画として開催した機織体験教室では本市の伝統工芸をより身近に感じてもらうことができ、本市の魅力を発信できた。各職人の丁寧な接客で展示後の商談にもつながり、大きな成果を得ることができた。</p> <p>期間中の来場者数 約14,500人 期間中の売上額 約5,480千円</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>■当展示会は17回目を迎え、来場者の約3割がリピーターであるなど首都圏に定着してきたと言える。しかし、約4割の方は静岡市の工芸品を知らないと回答しており、工芸品のPRを強化することが課題である。</p> <p>■来場者の約5割が60代以上の年配者であるため、デジタルサイネージ、facebook等電子情報媒体を活用していくことで、より広い年齢層へ情報発信していく。</p> <p>■外国人来場者が近年増加している。外国人にも展示会を楽しんでもらい、本市の伝統工芸品の魅力が細部まで伝わるよう、多言語のパンフレットや商品説明文等を作成する。</p>	
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進				
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	価値	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>			
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

事業 3-2	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成30年度			
	事業名	(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-2) ホビーのまち静岡推進事業		予算額	77,348千円		
				決算見込額	73,749千円		
	事業概要	<p>ホビーのまち静岡の推進を図る中では、本市の特長であるプラスチックモデル産業を基盤としながらも、今後は、クリエイティブ、アート、コンテンツ等とホビー産業の関連分野との新たな連携や融合に取り組んで、ホビー関連産業の裾野拡大に努めます。</p> <p>こうしたホビー関連産業の広がりに向けては、動画配信のほか、首都圏の商業施設等において、PR活動等を継続的に実施し、更なる顧客の拡大や新たな購買層の獲得に結び付けていきます。</p> <p>このような裾野拡大やPR活動等の継続的な実施により、多くの方々に「静岡市に行けば、一生楽しめる趣味が見つかる」や、「ホビーと聞けば、即座に静岡市をイメージする」と認識していただけるように努めていきます。</p>		取組状況	H30.9.1 現在	<p>○小田急電鉄広告掲載 掲載枚数: 中刷り広告 2,000枚(全車両) / 駅貼りポスター 70枚(全駅) 掲載期間: 中吊り広告 4日間 / 駅貼りポスター 2週間</p> <p>○ホビーのまち静岡 動画配信 概要: ホビーのまち静岡の歴史やイベントを紹介するPV(H27年度作成)をyoutubeやホビースクエアHPで動画を配信した。</p>	
				進捗率等	H30.9.1 現在	132,450人	54(%)
				補足事項	H31.3.31 現在	232,146人	94(%)
	成果目標	関連施設・イベント入込客数 247千人		事業 評価	事業結果	<p>下記のとおりプロモーション事業を行った。</p> <p>■首都圏PR(第1回目) 名称: ホビーのまち静岡inららぽーと豊洲 期間: 平成31年3月30日~31日(2日間) 会場: ららぽーと豊洲(東京都江東区) 来場客数: 10,000人</p> <p>■小田急電鉄広告掲載 掲載枚数: 中刷り広告 2,000枚(全車両) / 駅貼りポスター 70枚(全駅) 掲載期間: 中吊り広告 4日間 / 駅貼りポスター 2週間</p> <p>■ホビーのまち静岡 動画配信 概要: ホビーのまち静岡の歴史やイベントを紹介するPV(H27年度作成)をyoutubeやホビースクエアHPで動画を配信した。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流				
	産業振興プラン位置付け	大施策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
		中施策	戦略産業の育成・集積を推進				
基本方向		戦略産業の振興					
産業振興プラン位置付け	基本方針	観光・ブランド産業					
	基本方針	ホビー産業育成支援事業					
	基本方針	ホビー産業育成支援事業					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>①首都圏PRについては、より効果的なイベント内容及び来場者が静岡市を感じられるような会場レイアウト作りを検討する。</p> <p>②各プロモーション事業を実施したことによる効果を検証し、次年度以降の施策に反映していく。</p>			

事業 3-3	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成30年度		
	事業名	(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-3) しずおか葵プレミアム認証事業		予算額	7,214千円	
				決算見込額	6,655千円	
	事業概要	この事業では、本市ならではの魅力を生かした認証品の販売支援等を通じて、認証事業者の収益向上に努めるとともに、消費者に本市を思い描いてもらう認証品づくりについて、認証事業者、ブランド認証専門委員、関連事業者、市が連携を図りながら実施していきます。 具体的には、バイヤーを含むブランド認証専門委員による認証品の販売促進に向けた販路の選定や、大消費地である首都圏等の商業施設等を想定した販売促進を支援します。 さらに、その内容を踏まえて新規認証再開に向けた制度設計の検討を行い、新たなステージでの事業推進に取り組んでいきます。		取組状況	H30.9.1 現在	■展示・販売会等実績(4/1~9/1現在までに実施のもの) ①第62回静岡まつり(3/30~4/1) ②駿府楽市「しずおか素敵な手土産展」(6/13~19)
				進捗率等	H30.9.1 現在	展示・販売会等開催回数 2回
	補足事項		H31.3.31 現在	展示・販売会等開催回数 18回	150(%)	
	成果目標	展示・販売会等開催回数 12回/年		事業結果	■展示・販売会等実績(9/2~3/31に実施のもの) ③有楽町「よい仕事おこし」フェア(9/19、20) ④名古屋「ビジネスフェア2018」(10/4) ⑤しんきんつなぐチカラ静岡2018(10/10) ⑥アピタ静岡店生誕祭イベント(11/1) ⑦産業フェアしずおか2018(11/24、25) ⑧静岡市交流会in東京(12/19) ⑨JR静岡駅北口地下広場「しずチカ」展示(1/5~22) ⑩駿府匠宿「しずおか葵プレミアム展」(1/24~2/5) ⑪静岡おみやプロジェクト「首都圏商談会(秋葉原)」(2/25) ⑫静岡おみやプロジェクト「10周年記念販売会」(清水エスパルスドリームプラザ)(3/2、3) ⑬~⑰ペガサート地下通路 認証品展示6回	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野別				
		政策				
		施策				
産業振興プラン位置付け	分野別		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■「しずおか葵プレミアム」の認知度を高めることでブランド価値の向上を図るため、市内外へ広く情報発信できるWEBコンテンツ(動画等)を活用した積極的なPRを実施する。	
	政策					
	施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係 (H31年度担当:企業立地係)		その他(特記事項)			

事業 4	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援 (異業種交流支援を含む)		平成30年度		
	事業名	(事業4) 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援		予算額	47千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援については、新規顧客開拓や新分野進出を目指す市内企業を支援するため、情報発信及びビジネスマッチングの機会提供を推進します。		取組状況	H30.9.1現在	■まちみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おおた研究・開発フェア 平成30年10月25日～26日 出展予定0社 ・おおた工業フェア 平成31年1月31日～2月1日 出展予定1社
	H31.3.31現在	(支援事業への参加企業数) 0社 (%)				
	成果目標			事業評価	事業結果	■まちみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おおた研究・開発フェア (東京都大田区) 平成30年10月25日～26日 出展企業なし ・おおた工業フェア (東京都大田区) 平成31年1月31日～2月1日 出展企業なし ※応募企業はあったものの、出展者多数により、出展ができなかった。
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	産業振興プラン位置付け	施策1	新市場・販路開拓に対する支援			
分野			次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等	■研究・開発フェアについては、 年々応募企業が減り、平成30年度は平成29年度に続き0社であった。 ■工業フェアについては、 出展を希望する企業もあり、工業系展示会として一定の効果が期待できることから、引き続き募集を行う(出展の可否は展示会全体の出展数による。大田区外企業は優先順位が低い。)。		
政策						
施策1						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

事業 5	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援 (異業種交流支援を含む)		平成30年度		
	事業名	(事業5) 地場産品の販路開拓と販売促進		予算額	35,456千円	
				決算額	35,079千円	
	事業概要	<p>この事業では、伝統工芸創造部会の提言等に基づいて、次に掲げる5つのポイントのもとで、伝統的工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を検討して事業化を進め、地場産業関連事業者の収益性の向上に努めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(事業5-1) 伝統工芸品等の展示販売会の充実化 ■(事業5-2) 海外における地場産品の販路開拓 ■(事業5-3) インターネットの活用による地場産品の販売促進 ■(事業5-4) 問屋の機能の再興に向けた検討 ■(事業5-5) 地場産品販売拠点の充実化 <p>伝統的工芸品を含む地場産品については、販路開拓と販売促進に関する課題を抱えているため、顧客のニーズを把握した上で、展示販売会の充実をはじめ、海外販路の開拓、インターネットを活用した販売促進に向けた支援を展開します。</p> <p>また、地場産品の販売拠点であるJR静岡駅構内の駿府楽市については、観光事業担当課などとも連携し、観光客の来店を促す特典等を検討するなど、これまで以上に販売を促進させる取組を推進していきます。</p> <p>さらに、伝統的工芸品については、売上げが見込める商品づくりに努めていきます。</p> <p>そのためには、首都圏等におけるテストマーケティングの実施をはじめ、顧客ニーズに関する情報を的確に伝統工芸職人に伝えるなど、消費者と生産者を結びとともに、伝統工芸分野の収益性を高める問屋の機能の再興を検討していきます。</p>		取組状況	H30.9.1現在	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会開催による販路拡大を行う ■駿府楽市との定例検討会の実施 5回 ■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間28回の展示会を開催予定、内現在までに12展示会を実施した。 <p>4/1~8/31までの来場者数 180,280人</p>
					H30.9.1現在	<p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 12回 44%</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 18.1万人 44%</p>
					H31.3.31現在	<p>(5-1) 各展示販売会来場者数 245,283人 90.8%</p> <p>(5-2) 台湾見本市への出展の可否を検討</p> <p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回 100%</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 43.3万人 104%</p>
	成果目標	<p>(5-1) 各展示販売会来場者数 270,000人</p> <p>(5-2) (海外に向けた) 開発と販路等の検討</p> <p>(5-3) 駿府楽市Webページ改修(済)</p> <p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 41.5万人</p>		進捗率等		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会の入場者数 245,283人 ■台湾見本市への出展を検討するが、現状は困難なため出展は未実施 ■駿府楽市と業界、市の検討会の実施 27回 ■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間27回の展示会を開催した。 年間来場者数 432,670人
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進			
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <ul style="list-style-type: none"> ■駿府楽市との定例検討会や業界との協議は実施できているが、問屋の機能に係る協議に発展させていく必要がある。 ■海外でのシティプロモーション等の場を活用し工芸品等地場産品をPRしていく必要がある。 ■駿府楽市の静岡市特産品展示コーナーの展示会は引き続き継続させ、一層の来場者向上を図っていく。 ■駿府楽市に関しては開店時から大規模な内装修繕が行われてこなかったが、照明の改修等の小規模修繕を実施し改善を図った。今後は大規模修繕に向けて準備していく必要がある。 	
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成30年度		
事業名	(事業6) 新産業開発振興機構の活用に関する検討	予算額		0千円		
		決算見込額		0千円		
事業概要	<p>地場製品の開発や販促をはじめ、地場産業界の競争力強化に関しては、新たな進展を図るため、製造事業者の集積機関である新産業開発振興機構との連携促進に向けて検討を進めます。</p>	取組状況	H30.9.1 現在	<p>■静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、木漆部会員を活用し伝統工芸を含めた地場産業界と新産業開発振興機構との連携を模索していく。</p> <p>■機構が有する多様な経営資源のうち、伝統工芸業界とマッチングできる業種を検討しその調整をしていく。</p> <p>■地場産業事業所と連携について協議</p>		
			進捗率等	H30.9.1 現在	連携を模索 (%)	
				H31.3.31 現在	検討を実施 (%)	
成果目標	新産業開発振興機構との連携促進に向けた検討		事業結果	<p>■静岡商工会議所機構事務局との連携の中で、大学や業界団体とのマッチング可能性を模索したが、結びついていない。</p> <p>■地場産業事業所との協議を実施したが、同機構のノウハウ活用までは至っていない。</p>		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
	大施策					
	中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携可能性を引き続き検討していく。</p> <p>■地場産業団体に対し、引き続き大学や研究機関との連携について希望調査していく。</p>		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

事業 7	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援	平成30年度		
	事業名	(事業7) 中小企業技術開発支援事業	予算額	0千円	
			決算見込額	0千円	
	事業概要	<p>この事業では、中小製造事業者や業界団体等を訪問し、開発や生産技術等に関する課題などを把握した上で支援テーマを設定し、中小製造事業者の生産活動を支援していきます。</p> <p>初年度である平成26年度には3Dプリンタをテーマに設定し、セミナーの開催や、市・事業者で組織された研究会を通じて、商品開発を支援する仕組み作り等について検討を進めています。</p> <p>今後は、県や関係機関との連携を強化しながら、3Dプリンタや、知的財産を利用した技術開発事業を検討し、引き続き、中小製造事業者に対する生産活動を支援していきます。</p>	取組状況	H30.9.1 現在	<p>■関東経済産業局「知的財産セミナー」の市内開催 関東経済産業局が中小企業の知的財産の活用・技術開発環境の支援を目的とした戦略的知財マネジメント推進事業の一環として管内で開催している「知的財産セミナー」について、静岡市内での開催を要望すると共に、静岡県や静岡県発明協会と連携しながら、セミナーテーマの設定、市内製造事業者へのセミナー参加呼びかけを行う。</p>
			進捗率等	H30.9.1 現在	(%)
			補足事項	H31.3.31 現在	市内製造事業者を対象とした知財セミナー開催件数 1件
	成果目標	市内製造事業者を対象とした知財セミナー開催件数 1件/年	事業評価	事業結果	<p>■関東経済産業局「知的財産セミナー」の市内開催 日時：平成31年1月25日(金)13:30~16:30 会場：静岡市産学交流センター6階 演習室 内容：「川崎モデル」にみるオープンイノベーション戦略～中小企業のための開放特許活用法～ 講師：西谷亨氏(公益財団法人川崎市産業振興財団知的財産コーディネーター) 参加者：約40人</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			
		大施策			
		中施策			
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>次年度以降についても、市内製造事業者の知財活用の促進、技術開発環境の支援のために、関東経済産業局と連携し、セミナーの開催を継続していく。 セミナーの開催にあたっては、市内製造事業者へのヒアリングや静岡県、静岡県発明協会との協議を通して、テーマ設定や開催時期を検討していく。</p>	
	基本方針				
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他(特記事項)			

事業 8	ものづくり 基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成30年度			
	事業名	(事業8) 若手グループの商品 開発支援(ものづくり相談・支 援)		予算額	1,143 千円		
				決算見込額	1,015 千円		
	事業概要	この事業では、市内地場産業 の活性化に向けて、デザイン、 加工技術、経営等に関する各種 講演会や講習会のほか、事業者 のニーズに基づいて、実務経験 等が豊富な人材を派遣し、地場 産業関連事業者を支援します。		取 組 状 況	H30.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 3回(計7回予定) ■商品開発・販路開拓講演会の開催 販路開拓講演会0回(1回予定) ■商品開発支援事業の実施 技術プロモーションによる展示会出展(1回)(1回予定) ■販売実践講座の実施 接遇実践指導0回(1回予定) 	
						補 足 事 項	進 捗 率 等
	H31.3.31 現在	講習会、講習会 指導会開催回数 10回	333 (%)				
	成果目標	講演会、指導会等の開催回数 3回		事 業 評 価	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 7回 ■商品開発・販路開拓講演会の開催 商品開発・販路開拓講演会 1回 「産地との新しいかかわり方」(萩原 修) ■商品開発支援事業の実施 技術プロモーションによる漆器商品販路開拓のため の展示会出展 1回 「SOZAI展」 ■実践講座の実施 接遇実践講座 1回(3日連続) 「接客でつたえる、顧客へつなげる」(清水博之氏) 	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	商工・物流			次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■漆器商品流通化の実施 乾漆を中心とした漆器商品開発については専門家指 導により流通化を目指し展示会に出展したが、販路の 開拓には至っておらず、引き続き新しい販路を求め継 続していく。 ■実践講座の継続 接遇実践講座が好評を博したように、消費者対応へ の関心が高いことから、VMD等の手法を学ぶ実践講 座を継続していく。
		大 施 策	世界・全国に挑戦する中小企 業の振興を図ります				
		中 施 策	新製品・技術開発等に対する 支援				
産業振興 プラン 位置付け	政策 方針	商工・物流	<ul style="list-style-type: none"> ■漆器商品流通化の実施 乾漆を中心とした漆器商品開発については専門家指 導により流通化を目指し展示会に出展したが、販路の 開拓には至っておらず、引き続き新しい販路を求め継 続していく。 ■実践講座の継続 接遇実践講座が好評を博したように、消費者対応へ の関心が高いことから、VMD等の手法を学ぶ実践講 座を継続していく。 				
	大 施 策	世界・全国に挑戦する中小企 業の振興を図ります					
	中 施 策	新製品・技術開発等に対する 支援					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)				

事業 9-1	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成30年度		
	事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-1) 商品企画・開発支援プロジェクト事業		予算額	指定管理料69,354千円の一部	千円
				決算見込額	指定管理料69,354千円の一部	千円
	事業概要	商品企画や開発支援では、産学交流支援センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を生かした商品づくりを支援します。		取組状況	H30.9.1 現在	【静岡おみやプロジェクト】 ・プロジェクト期間 平成30年6月中旬～平成31年3月末 ・上限枠 6社 ・これまでに、勉強会、参加企業訪問、ニーズ調査を実施。マーケティング戦略に沿った商品開発に向け進捗中。 【今後の予定】 ・コンセプト及び戦略策定 ・商品開発 ・パッケージ開発 ・展示会への出展 ・販売イベントの開催
						補足事項
	H31.3.31 現在	商品化件数 6件	100(%)			
	成果目標	商品化件数 6件/年		事業 結果	事業 評 価	【静岡おみやプロジェクト】 ・プロジェクト期間 平成30年6月中旬～平成31年3月末 ・参加企業数 6社 ・プロジェクト10周年を記念し「静岡浅間神社のおみやげ開発」と題し、神社の歴史や観光資産としての価値を踏まえた商品開発を支援。 ・事業アドバイザーのもと、市場の動向を見直し、消費者ニーズ調査を行うなど、マーケティング戦略に沿った商品開発を一貫して支援した。 ・商品化件数 6件
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 商工・物流			
		大施策	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
		中施策	01 戦略産業の育成・集積を推進			
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 商工・物流	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・事後ヒアリングにより、市場流通後の支援ニーズを探っていく。		
	基本方針	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
	基本施策	01 戦略産業の育成・集積を推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 中小企業支援係		その他(特記事項)			

事業 9-2	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成30年度		
	事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-2) 新商品・特許事業		予算額	6,000 千円	
				決算見込額	4,391 千円	
	事業概要	市内中小製造事業者が取り組む新商品の開発及び特許等の産業財産権の取得などについては、その出願経費の一部を助成します。 なお、新商品開発の経費助成については、本市産業経済の牽引が期待される産業に関して、産業振興プランに掲げる戦略産業の事業者を対象に助成内容の拡充について検討します。		取組状況	H30.9.1 現在	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、3件の補助金交付申請を受理している。今後、1月末までに中間検査を実施し、年度末の事業完了報告を経て補助金を交付する。(交付決定額:2,691千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 9月1日現在、補助金交付申請件数は5件となっている。 特許:5件、実用新案:0件 今後、事業完了報告を経て補助金を交付する。 (交付決定額:500千円)</p>
					補足事項	進捗率等
	H31.3.31 現在	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 20件 (内訳) 新商品助成件数 3件 産業財産権助成件数 17件 (%)				
	成果目標	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 25件/年		事業評価	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、3件の補助金交付申請を受理した。中間検査で現地訪問により進捗状況を確認したところ、各事業所とも課題点等があったものの、順調に開発を進めており、交付決定した3社全て、年度内に開発を終えることができた。(交付金額:2,691千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 年度末までに次のとおりの交付申請があった。 申請件数 17件 (交付金額:1,700千円)</p> <p>■事業の周知活動 市内金融機関等の各関係企業、団体への訪問や会議においての説明を通じて、本事業の周知を図り、助成制度の活用促進に努めた。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		中施策	新商品・技術開発等に対する支援			
産業振興プラン位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■新商品を開発した時点で事業終了とすることなく、開発された製品の販路開拓や他制度との連携に向けた検討を行う。</p> <p>■静岡県発明協会と連携を図り、補助制度を活用しながら企業の積極的な産業財産権出願を促進し、市内製造業の技術保護につなげたい。</p>		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)	■新商品等開発助成については、申請の取り下げが1件あった。		

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成30年度	
事業名	(事業10) アーティストとのコラボレーション支援推進 (ニューウェーブしずおか創造事業)		予算額	6,437 千円	
			決算見込額	6,254 千円	
事業概要	この事業では、本市の特色を生かして開発される家具等の新商品開発と新規の流通開拓を支援します。 具体的には、意欲ある企業による研究会の立ち上げのほか、事業者とデザイナー等との協働によって開発された商品を流通市場で広くPRすることで販売促進を支援します。		取組状況	H30.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■参加者募集とデザイナー公募によるデザイン開発 新たに参加企業を募集しデザイナーを公募。プロデューサーの指導のもとでデザイナーと協同しデザイン開発を行い試作を行った。 ■商品試作とリデザイン デザイン開発された商品を試作中。プロデューサー指導のもとリデザインを実施予定。 ■展示会への出展(予定) 東京インターナショナルギフトショー」に出展予定。各種PRツールを作成し、商品化を模索する。
			進捗率等	H30.9.1 現在	0 (%)
			進捗率等	H31.3.31 現在	(開発点数) 33点 135 (%)
成果目標	開発点数 各年度 20点		事業結果 <ul style="list-style-type: none"> ■事業参加者及びデザイナーの各チームの決定 意欲ある事業所を募り、参加7者が公募デザイナー7名を選出し、プロデューサー指導のもと協議を行った。 ■デザイン開発 各チームごとに協議を繰り返し、ビジョンの策定とそれに基づくデザイン開発を行った。 ■試作とリデザインによる製品試作 デザイン図面に基づき、試作を行い、必要に応じリデザインや再試作等を実施し、プロトタイプを開発した。 ■販売ツール作成と広報活動 開発品の撮影等を行いパンフレットを作成。HP等で展示会等について告知を行いPRに努めた。 ■展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」(2月)に出展。多数の来場者の反応を確かめ、営業活動を行った。 ■商品化の模索 反響を基に商品修正等を実施。各展示会出展等での反響先を中心として、営業活動を継続。販路開拓作業を継続実施した。 		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針 商工・物流	大施策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
中施策 新製品・技術開発等に対する支援	政策方針 商工・物流	大施策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
産業振興プラン位置付け	中施策 新製品・技術開発等に対する支援	中施策 新製品・技術開発等に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■改善点等 流通化率をより高めるため、首都圏での見本市出展の反復化に加えて、共同あるいは個別による小売店展示や小規模展示会等により、市場への展開を多面化する。
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)		

事業 11	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成30年度		
	事業名	(事業11) 地域課題に係る産学共同研究への支援		予算額	指定管理料69,354千円の一部 千円	
				決算見込額	指定管理料69,354千円の一部 千円	
	事業概要	この事業は、経済環境の変化によって生じる高度で複合的な地域課題を解決するため、地域の産業界をはじめ、新産業開発振興機構などが大学の知見・人材・分析能力を生かし、共同で取り組む調査研究を支援します。		取組状況	H30.9.1 現在	【産学交流センター】 ・地域課題に係る産学共同研究に対する委託事業：委託研究数 7件 ・委託期間：平成30年7月～平成31年3月末 ・成果発表：平成31年3月15日
		補足事項				
	成果目標		7件/年		事業結果	【産学交流センター】 ・地域課題に係る産学共同研究に対する委託事業：委託研究数 7件 (基礎コース) 4件 (応用コース) 3件 ・委託期間：平成30年7月～平成31年3月末 ・成果発表：平成31年3月15日
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 商工・物流			
		大施策	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
		中施策	01 戦略産業の育成・集積を推進			
	産業振興プラン位置付け	基本方向	3 商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
基本方針		01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
基本施策		01 戦略産業の育成・集積を推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 中小企業支援係		その他(特記事項)		・事後ヒアリングにより、研究終了後の支援ニーズを探っていく。	